

# 学園祭 カーボン・オフセット マニュアル

～あなたの学園祭をカーボン・オフセット～

2010年度 改定版（当日スタッフ用）



作成者 東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科  
中原秀樹研究室  
笹木 宏行

# 目次

◆はじめに . . . . P3

◆カーボン・オフセットとは? . . . . . P3

◆カーボン・オフセット協力金収集編 . . . . . P4

◆図で説明する学園祭カーボン・オフセット . . . . . P5~P6

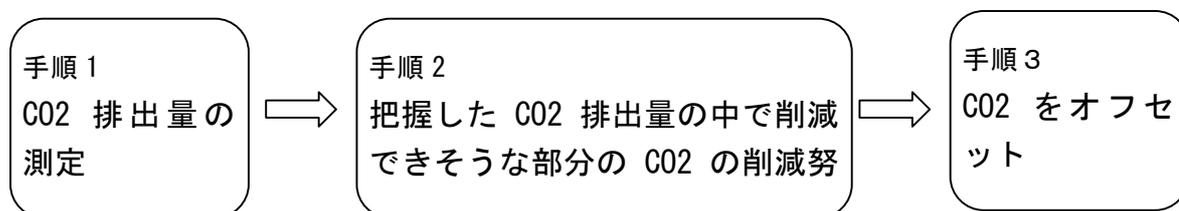
## ◆はじめに

このマニュアルは「東京都市大学TCU横浜祭」（6月開催）にて行なわれたカーボン・オフセットをベースとし、より多くの学園祭でカーボン・オフセットを実施していただきたく「簡易版」より、「実践的要素や図」を加え、より使いやすく実用的なものを目指し作成したものです。また、責任者用（知識が多いマニュアル）スタッフ用（実働的なマニュアル）と2種類作成し、その用途にあわせて活用していただけたらと思います。このスタッフマニュアルは当日カーボン・オフセットブースの中で行っていただく、来場者の対応について説明いたします。

## カーボン・オフセットとは？

カーボン・オフセットとは、名前の通りカーボン（炭素）をオフセット（相殺）することです。ここでは、カーボンとしていますが、実際には温室効果ガスといわれる6つの物質を指します。世間では、温室効果ガスの中でも CO2（二酸化炭素） が、最もオフセットの対象になっています。このマニュアルにおいても CO2 を対象としています。

簡単に学園祭カーボン・オフセットの手順を説明します。



カーボン・オフセットの取り組みとして最初にすべきことが、CO2の排出量の測定です。次に、排出してしまっているCO2のうち、削減できそうな部分の削減努力をします。削減努力をおこなったけど、どうしても排出してしまうCO2を、「よし、オフセットしよう！」となるのです。

では、カーボン・オフセットするにはどうすればよいのでしょうか？イメージしやすい方法は植林でしょう。木はCO2を吸って、O2（酸素）を出します。植林を実際に行うものよし、植林をしている団体への援助（投資金として）を行うのもよしです。また、イメージしにくいかもしれませんが、誰かが自ら出したCO2を、排出した以上に削減できたとします。その余剰分（排出枠）を買って、削減したとみなすこともできます。カーボン・オフセット方法は、色々な方法があるので、その中から、自分に合ったかたちを選択すれば良いのです。簡単ではありますが、以上がカーボン・オフセットの基本です。

## ＜カーボン・オフセット協力金収集編＞

カーボン・オフセットのための協力金の対象は、参加される来場者はもちろんのこと、学生や教職員も対象としています。つまり全ての学園祭関係者に協力金に参加をしてもらいます。しかし、ただ単に『お金をください』ということではカーボン・オフセットの本来の意義から反れてしまいます。ここには環境教育として意味があります。つまり、「カーボン・オフセットとは何なのか」、「なぜ協力しなくてはいけないのか」を学園祭関係者に知らせる必要があります。

では、簡単に当日のカーボン・オフセットブースの流れを説明します。

**STEP①** ・ ・ 積極的に来場者に声をかけコミュニケーションを取りましょう。そして興味を持ってくれ、ブースに来てくれた人に「カーボン・オフセット」とは何かを説明しましょう。東京都市大学学園祭カーボン・オフセットのブース内には「地球温暖化について」、「カーボン・オフセットとは」、「実際の植林の写真」、「カーボン・オフセットの今後の展望」などについて説明したパネルの展示をしているので、これを来場者に見ていただきながら、説明することでより一層理解してもらえるように努めています。

**STEP②** ・ ・ カーボン・オフセットに必要な協力金のことを伝え、協力して頂けるのであれば、募金をしてほしい旨を説明しましょう。※もし募金に協力頂けなくても、移動によるCO2排出量を調べるためにアンケートは記入して頂くようにお願いしましょう。

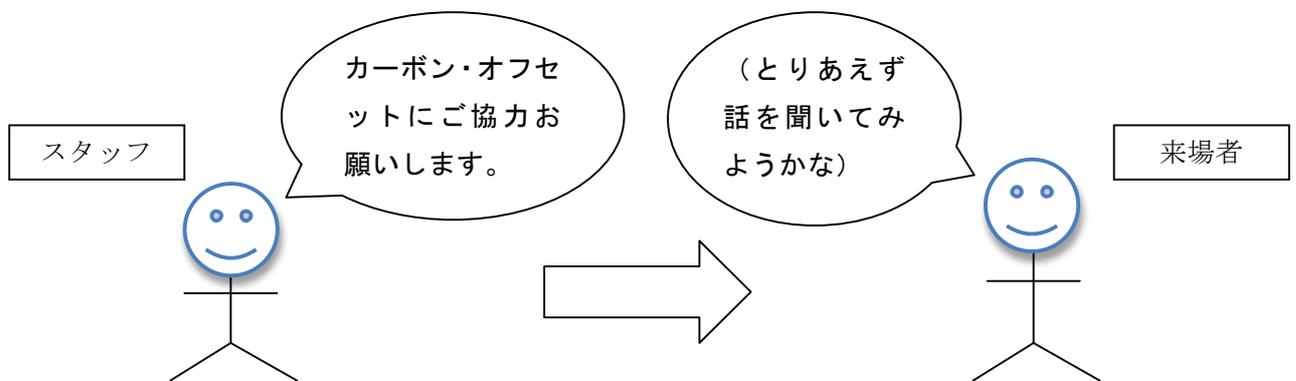
◆POINT ・ ・ 協力金を呼び掛ける際には「100円」の募金で0.2本のカラマツを植えることができ、「500円」で1本植えることができるなど、CO2のオフセットの具体的なイメージを来場者に持たせて参加意欲を向上させるようにしましょう。

**STEP③** ・ ・ 協力金を頂けたら、協力証書を渡しましょう。

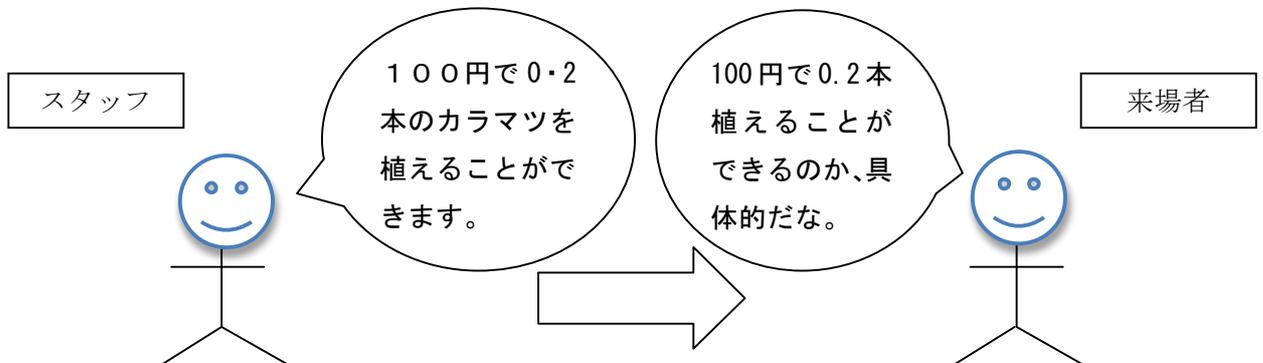
## 図で説明する学園祭カーボン・オフセット

ここでは、当日のカーボン・オフセットブースの中でのスタッフの来場者への説明を図にして説明します。主に、この来場者とのコミュニケーションが学園祭カーボン・オフセットです。

**STEP①** ・ ・ 学園祭来場者に対して呼びかけを行い、カーボン・オフセットに興味を持ってもらう。



**STEP②** ・ ・ 来場者の方が興味を持っていただいたら、カーボン・オフセットの説明をします。ここで重要なのは、カーボン・オフセットはお金でCO<sub>2</sub>をすべて相殺することではなく、削減努力をして、もどうしても出てしまうCO<sub>2</sub>に対して募金を募り、その集まった資金を使い植林をしてCO<sub>2</sub>を相殺することを来場者に伝える。その時具体的にいくらでどれだけの植林ができるかを伝え、100円でどれだけのCO<sub>2</sub>が相殺できるのかを伝えましょう。東京都市大学の場合は1本500円のカラマツの木が植樹に使われ、CO<sub>2</sub>吸収量が1本あたり約150kgです。※これはプロバーダーや植える木により異なります。



**STEP③** ・ ・ 来場者が協力金を頂けたら、証書を発行する旨を案内し、証書ができるまで展示物をご覧になっていただき、さらにカーボン・オフセットの理解を深めていただきましょう。



この流れがカーボン・オフセットブースでのスタッフの一連の流れになります。

**<注意> 来場者から「お金でCO2を相殺するだけでしょ」と言われたら**

来場者の方にカーボン・オフセットの仕組みを再度説明しましょう。カーボン・オフセットはまずCO2の排出量の算定をし、どのくらいの排出量かを把握します。その中で削減できる部分を洗い出し削減努力を行います。そしてどうしても削減できない部分（来場者の移動手段）に関して協力金を募り、その資金を利用して植林を行いCO2を相殺するという取り組みになっています。つまり、すべて募金でCO2を取り消すような取り組みではないということを説明してください。